

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成18年1月19日(2006.1.19)

【公表番号】特表2005-511203(P2005-511203A)

【公表日】平成17年4月28日(2005.4.28)

【年通号数】公開・登録公報2005-017

【出願番号】特願2003-550699(P2003-550699)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/24 (2006.01)

【FI】

A 6 1 F 2/24

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月21日(2005.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

心臓の僧帽弁輪を治療するアセンブリであって、

僧帽弁輪に隣接した心臓の冠状静脈内に配置されたときに心臓の僧帽弁輪を再形成する僧帽弁治療具であって、連結構造を含んでいる基端を備えた僧帽弁治療具と、

前記僧帽弁治療具を心臓の冠状静脈内へ導く内腔を有しているカテーテルと、

前記僧帽弁治療具の連結構造に係止可能である第2の連結構造と、

前記僧帽弁治療具の連結構造を前記第2の連結構造に係止し或いは前記僧帽弁治療具の連結構造を前記第2の連結構造から解除する係止部材とを含むアセンブリ。

【請求項2】

請求項1に記載のアセンブリであって、

前記カテーテルの内腔内へと前記僧帽弁治療具を押し込む押込部材を更に含んでおり、該押込部材は、前記僧帽弁治療具の基端と係合する末端を備えていることを特徴とするアセンブリ。

【請求項3】

請求項2に記載のアセンブリであって、

前記押込部材が、該押込部材の末端において前記第2の連結構造を担持していることを特徴とするアセンブリ。

【請求項4】

請求項1に記載のアセンブリであって、

前記僧帽弁治療具の連結構造と前記第2の連結構造とが一对の連結構造を含み、前記係止部材が前記一对の連結構造に緊密に嵌合される摺動係止シースを含んでいるアセンブリ。

【請求項5】

請求項4に記載のアセンブリであって、

前記一对の連結構造がチューブによって形成されており、前記摺動係止シースが管状であるアセンブリ。

【請求項6】

心臓の僧帽弁輪を治療するためのアセンブリであって、

僧帽弁輪に隣接した心臓の冠状静脈内に配置されたときに心臓の僧帽弁輪を再形成する

器具であって、当該器具を連結するための器具連結手段を含んでいる基端を備えた器具と、

前記器具を心臓の冠状静脈内へ導く内腔を有しているカテーテル手段と、

前記器具連結手段に対して係止するための第２の連結手段と、

前記器具連結手段を前記第２の連結手段に係止し或いは前記器具連結手段を前記第２の連結手段から解除するための係止手段とを含むアセンブリ。

【請求項 ７】

請求項 ６に記載のアセンブリであって、

前記カテーテル手段の内腔内へと前記器具を押し込む押込手段を更に含んでおり、該押込手段は内腔を有し、前記第２の連結手段と前記係止手段とが前記押込手段の内腔の中を延びているアセンブリ。

【請求項 ８】

請求項 ６に記載のアセンブリであって、

前記器具連結手段と前記第２の連結手段とが、当該器具連結手段と前記第２の連結手段とを解除可能に係止するための連結手段を含んでおり、前記係止手段が前記連結手段を連結状態に保持するための保持手段を含んでいるアセンブリ。

【請求項 ９】

請求項 ８に記載のアセンブリであって、

前記保持手段が、前記連結手段の連結された状態を解除するように変位可能であるアセンブリ。

【請求項 １０】

僧帽弁輪の再形成器具であって、

患者の心臓の冠状静脈内に繫止するように伸びる伸長可能な第１のアンカーと、

前記第１のアンカーの基端側で患者の心臓内に繫止するように伸びる第２のアンカーと

、

前記第１のアンカーと前記第２のアンカーとの間に伸びている結合部材であって、前記第１のアンカーに対して固定されており且つ前記第２のアンカーに対して選択的に固定されるか又は該第２のアンカーに対して動くことができ、前記第１のアンカーに対して基端方向の力を付与するようになされた結合部材と、を含む器具。

【請求項 １１】

請求項 １０に記載の器具であって、前記第１のアンカーが自動的に伸展するアンカーである器具。

【請求項 １２】

請求項 １０に記載の器具であって、前記第２のアンカーが自動的に伸展するアンカーである器具。

【請求項 １３】

請求項 １０に記載の器具であって、前記第２のアンカーが冠状静脈内に繫止するようになされている器具。

【請求項 １４】

請求項 １０に記載の器具であって、前記第２のアンカーが患者の心臓の右心房内に繫止するようになされている器具。

【請求項 １５】

請求項 １０に記載の器具であって、前記結合部材がケーブルである器具。

【請求項 １６】

請求項 １０に記載の器具であって、

前記結合部材から延びている連結部を更に含み、当該連結部は、テンション部材と連結し且つ該テンション部材からの基端方向の力を前記結合部材及び前記第１のアンカーに伝達するようになされている器具。

【請求項 １７】

請求項 １０に記載の器具であって、

前記第２のアンカーの前記結合部材に対する末端方向への動きに抗するようになされたロックを更に含んでいる器具。

【請求項１８】

請求項１７に記載の器具であって、前記ロックがラチェットである器具。